



「自立」達成に向けて *天候にも恵まれ、最高の修学旅行*



今回の修学旅行のスロ―ガンは、自立でした。当日までの学校生活の中から目標に向かって取り組んできましたが、実行委員だけが頑張っていてほかの生徒の態度はあまり良くなかったといえます。それから、新たな取り組みを行い、班長と副班長が責任感を持つことができました。

そして当日、集合時間の遅れが多くあったこととリーダー達の心構えが足りなかったことが課題となりました。

二日目は班員が協力して、集合時間の遅れは少なくなりましたが、ルールを守れてない人がいたことが課題となりました。その時点では目標達成度を聞かれたときに、90%以上で手を挙げた

「自立」に向けての三日間

人はほとんどいませんでした。三日目は学年とクラスでの活動でしたが、マナーを守れず他人に迷惑をかけてしまう人が多くいたことが残念でした。しかし、周りに気を配り、注意している人もいました。目標達成度を聞かれたときには、90%以上の人で手を挙げた人が多かったです。

【発行所】
久寺家中学校

【発行人】
3学年
広報委員会

班別行動の実態

班別行動では、ほとんどの班が協力して班別行動を成功させることができたと思います。到着の会で先生が言っていたようにほとんどの班が時間を守れていてよかったです。

思います。しかし、その一方でルールやきまりを守れていない人もいました。また、時間を守れていない班もありました。一日目は、時間を守れていなかった班も二日目はしっかりと直して時間を守れていてよかったです。

じたこと、体験したこと、これからの学校生活でも十分に生かすことができると思うので、修学旅行では完全に自立という目標は達成できなかったと思うので、完璧に達成できるようにしました。

生活部会 川崎大晴
修学旅行の準備で大変だったことは、学年全員がしっかりと楽しめると、様々な場所や場合でのルールを作成したことです。

歌声部会 河野莉子
修学旅行の準備で大変だったことは安全に入浴するために細かいルールを決めたことです。部会長をやっている前に立つ立場はすごく大変で思い通りにいかないこともあったけれど、その分達成感が大きくやりがいがありました。

美化部会 伊藤地宏
修学旅行の準備で大変だったことは、しおりに書く内容を部会で話し合っただけです。部会長から見えて良かった点は、臨機応変に動いていたことで、悪かった点は準備不足で、全てを想定しきれなかった点です。

給食部会 濱田遥平
修学旅行の準備で大変

今回、自分たちに足りない部分を見つけているいい機会だったと思います。まだまだ課題が残っているので、「自立」を達成できたとは言えないかもしれません。しかし、絆が深まり、多くの生徒が楽しかったと思える素晴らしい思い出を作ることができました。これからの学校生活で、残った課題を改善していき、一人一人が自立したといえる学年になっていきたいです。そして、最高の形で卒業できるように一日一日を大切に過ごしていきたいです。

京都・奈良班別行動ランキング！

第一位 【東大寺】
理由・鹿とたくさん触れ合え、楽しく遊ぶことが出来たから。大きすぎて迫力があつた。

第二位 【金閣寺】
理由・きれいで、驚いたから。かがやいてきれいだった。

第三位 【伏見稲荷大社】
理由・景色がきれい・頂上についたときの達成感がすごかった。千本鳥居をかぞえられた。

部会長の努力

生活部会 川崎大晴
修学旅行の準備で一番大変だったことは、学年全員がしっかりと楽しめると、様々な場所や場合でのルールを作成したこと、様々な場所や場合でのルールを作成したことです。

学習部会 赤迫優哉
修学旅行の準備で大変だったことは、ネットや本で情報を集め、協力して掲示物を作成したこと、部会長から見えてよかつた点は、班で協力して行動できていたことです。ただ、電車のマナーができていなかったように見えました。

実行委員長三浦ひまり
みなさん、修学旅行が終わり、一か月以上が経ちましたがどうでしたか？
予想以上に楽しかったのではないのでしょうか？三日間晴天に恵まれ、暑いぐらいでしたが最高の思い出が作れましたね。自分たちで事前学習したものを実際に見て、より学べたと思います。

実行委員は、二年生後半から準備をはじめ、どのようにしたら成功し楽しめるのかを話し合いました。スロ―ガンは「自立」。責任・切り換え・自律の3つから成り、第一にみんなに覚えてもらい達成してもらいたいと思います。

広報部会 大木彩音
部会長をやっている間は、拡大実行委員に学年全体が拍手をしてくれたことです。部会長から見えて良かった点は、絆を深めることができ、協力できたことです。

様々な場面で積極的に活動していた人、裏方でリーダーを支えてくれた人、全員が成長しすでに次の行事体育祭に向かっていきます。修学旅行で得た思い、経験はこの先必ずどこかで役立つと思います。各自が最高学年として自信をもって後輩の見本となる学校生活につなげましょう。

最後に、実行委員と共に悩み、考え、見守って下さった先生方、ありがとうございました。とても良い思い出を作ることができました。

編集後記

この新聞の題名は「ミラクルスター」ですが、これには学年全員が星のように輝いて奇跡を起こせるような学年になってほしいという願いがこめられています。

この新聞を通して学年の成長に貢献できればと思います。今後、新聞作成にご協力お願いします。

この新聞を通して学年の成長に貢献できればと思います。今後、新聞作成にご協力お願いします。